

頑 張 っ て い る 人、教 え て く だ さ い。

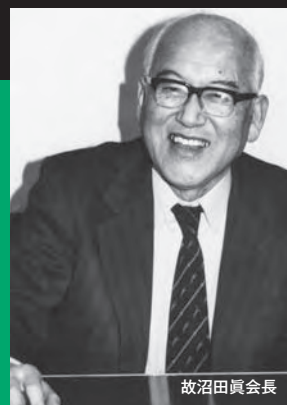
第10回

日本自然保護協会 沼田眞賞

受賞候補者推薦のお願い

締め切り: **2010年6月21日(必着)**

日本自然保護協会沼田眞賞は、会の設立当初から自然保護に尽力された故・沼田眞会長の思いを未来に伝えていくため、自然保護に関する研究・実践ですぐれた実績をあげた方を顕彰し奨励する賞です。今年もひきつぎ皆さまに、第10回沼田眞賞の受賞候補者の推薦をお願いいたします。受賞にふさわしいと思われる個人またはグループをぜひご推薦ください。



故沼田眞会長

今年度は国際生物多様性年に合わせ、「生物と文化の多様性に貢献した候補」を特別枠として募集します。

第10回日本自然保護協会沼田眞賞 実施要項



1.趣旨

自然保護および自然保護教育に関する研究または実践ですぐれた実績をあげた者を顕彰し奨励します。

2.対象 <一般枠と特別枠があります>

一般枠:下記3つの選考基準のうちいずれかを満たす個人またはグループ。

特別枠:国際生物多様性年に合わせ、「生物と文化の多様性への貢献(原生林・里山・河川・沿岸などさまざまな自然を、人との関係の中で残すことへの貢献)」に関して、下記3つの選考基準のうちいずれかを満たす個人またはグループ。

※同じ候補を両方の枠に推薦することはできません。

選考基準

- ① 自然保護および自然保護教育の模範となる実践活動
- ② 自然保護および自然保護教育に関する先駆的・独創的な考えを示した研究や著作(論文・書籍のほかキャッチフレーズ、電子情報、絵画なども含む)
- ③ 自然保護および自然保護教育の科学的裏付けとなる重要な調査研究(持続的・累積的な調査研究を含む)

3.推薦および選考方法

・理事・評議員・監事・顧問・参与・会員及び一般から、受賞条件をそなえていると考えられる個人・グループを推薦していただきます。(2010年6月21日締切)

・推薦は左の用紙をご利用ください(裏面もあります)。紙面が足りない場合は別紙にお書きください。また参考資料等あれば別途添付していただいて結構です。

・選考委員会が選考基準に従い候補者を絞り込み、理事会で受賞者を決定します。(2010年8月予定)

・授賞式・記念講演会の開催は2011年1月頃の予定です。

これまでの受賞者

第1回	小野有五 北海道大学教授 東北自然保護団体連絡会議	地形学からの北海道の自然保護への貢献 地域ネットワークによる東北地方のブナ林保護への貢献
第2回	村上哲生 名古屋女子大学教授 日本イヌワシ研究会	河口堰・ダムが河川生態系に与える影響に関する研究 イヌワシの研究ネットワークの構築による希少猛禽類の生息地の保全
第3回	小泉武栄 東京学芸大学教授 成東・東金の食虫植物群落を守る会	「日本の地形レッドデータブック」、「山の自然学」を通じた 日本の地形学的自然の保護と普及活動 成東・東金の食虫植物群落の維持管理と調査・普及活動
第4回	籠橋隆明 自然の権利基金事務局長	日本における「自然の権利」確立にむけた先駆的業績
第5回	長谷川博 東邦大学教授 穴塚の自然と歴史の会	鳥島におけるアホウドリの復活に対する貢献 里山の自然と文化の保全に対する貢献
第6回	宇野木早苗 海洋物理学者 小笠原野生生物研究会	沿岸海域生態系保全への海洋物理学からの貢献 小笠原諸島の野生生物の保全・再生への貢献
第7回	佐藤謙 北海道自然保護協会会長	高山植生の研究に基づく北海道の自然保護への貢献
第8回	該当なし	
第9回	星一彰 福島県自然保護協会会長 おおくさ倶楽部 和光・緑と湧き水の会	福島県における自然保護への貢献 湧水による谷津田の生きもののための田んぼづくりと普及活動 白子湧水と斜面林の保全に対する貢献

○推薦書送付先(締切:2010年6月21日(月)必着)

〒104-0033 東京都中央区新川1-16-10 ミトヨビル 2F 財団法人 日本自然保護協会 沼田眞賞担当
TEL 03(3553)4101、FAX 03(3553)0139

*今回のご推薦にあたりご記入いただいた個人情報、当事業に関する目的のみに使用いたします。

●**日本自然保護協会とは** 1949年、発電所計画でダムの中に沈もうとしていた尾瀬を守るため結成された「尾瀬保存期成同盟」が始まりです。その後日本各地で起きる自然保護問題に対応するため、1951年に日本自然保護協会となりました。皆さまからの会費とご寄付により、60年にわたり日本の自然を守るために活動しています。http://www.nacsj.or.jp